



財産収支状況書

記入例(個人の場合)

XX年 7月 20日

1 住所・氏名等

住所所在地	三重県津市西丸之内X-X-X	氏名称	津市 太郎
-------	----------------	-----	-------

2 現在納付可能資金額

現金及び預貯金等	預貯金等の種類	預貯金等の額	納付可能金額	納付に充てられない事情
現金		30,000 円	0 円	運転資金 生活費
〇〇〇銀行××支店	普通	100,000 円	0 円	運転資金 生活費
△△△銀行□□支店	普通	30,000 円	0 円	運転資金 生活費
		円	円	運転資金 生活費
現在納付可能資金額(A)			0 円	

満期日が1週間以上先の定期預金は下の「5 財産等の状況」「(2) その他の財産の状況」に記入します。

分割納付金額が増減する場合は、その理由を記入します。

3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

法人等	見込金額	個人	見込金額
申請者が給与所得者等の個人の場合は、「個人」にチェックを入れます。	収	給与・報酬(手取)	300,000 円
	入	年金・事業所得(1か月相当)	円
①収入合計	円	①収入合計	300,000 円
年金の場合は1か月相当の金額を記入します。事業を行う個人で都税等を同時に納付することで生活の維持が困難になる場合は、売上から事業にかかる経費等を差し引いた金額の1か月相当の金額を記入します。	支	住居費(家賃・住宅ローン・駐車場代)	120,000 円
	出	食費	60,000 円
		被服費	10,000 円
		水道光熱費・通信費・新聞代(ネット料金含)	40,000 円
		こづかい・交際費等	25,000 円
		保険掛金	10,000 円
		その他ローン(事業用を除く)	19,000 円
		医療費・教育費・養育費	20,000 円
パート収入のある配偶者や子からの仕送り、知人からの借入など生活費を負担する家族等がいる場合は、その負担金額をマイナスで記入します。		家族等の収入・家族等からの借入等(マイナスで記入)	-30,000 円
②支出合計	円	②支出合計	274,000 円
③納付可能基準額(①-②)	円	③納付可能基準額(①-②)	26,000 円
		生計を一にする家族の人数(申請者本人を含む)	4人

それぞれの金額を記入します。

4 分割納付計画(B)

月	分割納付金額	増減理由
8月	26,000 円	
9月	0 円	固定資産税の納付のため
10月	26,000 円	
	+延滞金	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	

「徴収猶予申請書」の猶予を希望する期間の終期と同

最終回は「+延滞金」と記入します。

※分割納付金額は3の③の欄を基に記載し、申請書の「納付計画」欄へ転記

申請者本人を含めた同一の生計の配偶者その他親族の人数を記入します。

5 財産等の状況

(1) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	売掛金等の額	回収予定日	種類	回収方法
事業を営む個人の場合、売掛金や貸付金等今後収入になるものについて記入します。「種類」には売掛金、貸付金、未収金等の種類を、「回収方法」には現金、振込、手形、小切手等の方法を記入します。	円	.	.	
	円	.	.	
	円	.	.	

(2) その他の財産の状況

不動産等	自宅の土地家屋(三重県津市西丸之内X-X-X)	国債・株式等	
車両		〇〇生命保険	
	借入のために抵当権を設定しているもの等、担保として提供している財産を記入します。	A銀行〇〇支店(定期預金・10万円・満期日×△年×月)	

満期日が1週間以上先の定期預金はその他(保険等)に記入します。

(3) 借入金・買掛金

借入先等の名称	借入金等の金額	月額返済額	返済終了(支払)年月	追加借入可否	担保提供財産等
〇〇〇銀行××支店	30,000,000 円	120,000 円	X△年 3月	可 (否)	自宅の土地家屋
	円	円	年 月	可・否	